

大会名 Competition	第22回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-115	Year Month Day Time 2009 年 5 月 5 日 15 : 10
場 所 Place	能代市総合体育館



チーム A		チーム B
洛 南	(26 1st 19 26 2nd 22 11 3rd 23 32 4th 19 OT)	能代工業
95 ○		83 ●

主審:Referee
藤垣 庸二 宮城県
副審:Umpire
北沢 岳夫 岩手県

テーブル・オフィシャルズ:Table officials
能代北高校

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	×	蛭名 涼	CAP	16	1	6	1	3	4	×	宮城 大喜	CAP	29	3	9	2	0
5	×	小林 遥太		17	0	6	5	1	5	×	武藤 修平		9	0	4	1	0
6	×	鈴山 高範		17	2	4	3	2	6	／	小川 昌志		5	1	1	0	1
7	／	河上 宗平		0	0	0	0	0	7	×	湊 大樹		11	2	1	3	3
8	／	塩谷 亨		2	0	1	0	0	8	×	伊藤 雄太		7	1	2	0	5
9		田中 太一		-	-	-	-	0	9	×	伊藤 伸高		16	0	6	4	0
10	／	鈴木 貴大		0	0	0	0	0	10		藤田 洸		-	-	-	-	0
11	×	木村 晃大		26	2	10	0	3	11		田中 浩喜		-	-	-	-	0
12	／	笹山 貴哉		8	0	3	2	1	12		溝坂 太成		-	-	-	-	0
13	×	満山 拓未		9	3	0	0	3	13	／	志水 一希		0	0	0	0	1
14		竹本 隼		-	-	-	-	0	14		中山 祐樹		-	-	-	-	0
15		谷口 光貴		-	-	-	-	0	15	／	西嶋 宏哉		0	0	0	0	1
16		大元 孝文		-	-	-	-	0	16	／	三上 翔平		6	0	2	2	0
17		神津 陵平		-	-	-	-	0	17		畑澤 哲平		-	-	-	-	0
18		國政 孝人		-	-	-	-	0	18		亀山 悟史		-	-	-	-	0
コーチ		吉田 裕司							コーチ		佐藤 信長						
アシ		作本 信夫雄							アシ		安保 敏明						
合 計				95	8	30	11	13	合 計				83	7	25	12	11

※ ×:スターター 〃:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P率* イントシュート 2P:2P率* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

試合開始時のディフェンスは両チームともマンツーマン。序盤、洛南は#11木村が好調、3Pや巧みなステップワークからのミドルシュートなどで得点を量産し、先行する。開始5分で20-11と洛南リードとなったところで能代工はたまたまタイムアウトを請求。タイムアウト後に#7湊と#8伊藤(雄)が連続して3Pを沈め一気に追いつけるかに思われたが、要所でミスが続き波に乗ることができない。#11木村が15得点を挙げる活躍を見せた洛南が26-19とリードを奪って第1Qを終える。

第2Q序盤、洛南の固いディフェンスを攻め倦む能代工に対し、洛南は#4蛭名の高確率のジャンプショットや#11木村の3Pが決まり、開始3分でリードを14点に広げる。流れを変えたい能代工がスリークォーターからのトラップディフェンスを仕掛けると、試合は能代工が得意とする速い展開となる。能代工のオフェンスも積極的になり、#4宮城の3P、ドライブ等で追いつけるが、一方の洛南も要所で#6鈴山、#4蛭名らが3Pを決めてリードを保つ。52-41と洛南がリードして第2Q終了。

第3Qに入ると、能代工は前半不調だった#9伊藤(伸)が果敢なプレイでチームを牽引、速攻からのバスケットカウントで54-50と一気に4点差まで詰め寄る。#4宮城も1対1で勝負強さを発揮し次々とシュートをねじ込むと、終了間際には速攻から#9伊藤(伸)が得点し、遂に逆転に成功。63-64と能代工リードで第3Qを終える。

第4Q、能代工は#9伊藤(伸)が鋭いドライブで連続得点を挙げると、洛南も#11木村が手堅くインサイドで得点、試合は一進一退のシーソーゲームとなる。残り3分で洛南#13満山の3Pが決まり79-75とリードを奪うと能代工はすかさずタイムアウトを請求する。しかしこのタイムアウト後、洛南は能代工のディフェンスの一瞬の隙をつき怒涛の攻撃を見せる。#4蛭名、#5小林のシュートが決まり残り1:30で85-75と二桁のリードを奪うと能代工はたまたまタイムアウト。能代工はフルコートでのプレスディフェンスを仕掛けるが、試合巧者の洛南は落ち着いて対応、ゴール下に巧みにパスを通し加点、追撃を許さない。能代工も#4宮城の3P等で意地を見せるが、終始冷静なプレイを見せた洛南がリードを守りきり、95-83のスコアで勝利を手にした。